

三三・

THEIR LIVES WERE TOO SHORT.

# いのち 生命のメッセージ展 in 上龍門

期間 2017年6月15日(木)～18日(日) 午前9時～午後5時 (15日は午後1時から)

会場 日本教育学院高等学校 (旧宇陀市立田原小学校) 入場無料

(裏面に会場までの地図があります)

## いのち 「生命のメッセージ展」

犯罪・交通事故・いじめ・医療事故・一気飲みの強要などによって、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展です。犠牲者一人ひとりの等身大の人型は「メッセンジャー」と呼ばれます。その胸には本人の写真や家族の言葉をはり、足もとには「生きた証」の靴を置いて、生命の大切さを訴えています。

生きたくても生きられなかったメッセンジャーたちの思いを伝え、「加害者も被害者もない社会」の実現を目指しています。会場では30体のメッセンジャーがみな様に語りかけます。



講演会 6月18日(日) 午後2時から

NPO法人KENTO代表 児島早苗さん

児島さんは息子の健仁さんを18歳の時に交通事故で亡くしました。その悲しみ苦しみを乗り越え、息子の命を生かし、同じ苦しみを絶つことを願って、NPO法人KENTOを立ち上げました。

KENTO: K交通事故を E永遠に N無くす T友達の O輪



主催 田原地区人権教育推進協議会 上龍門地域まちづくり協議会  
協賛 日本教育学院高等学校 協力 特定非営利活動法人いのちのミュージアム  
後援 文部科学省 法務省 国土交通省 警察庁  
宇陀市 宇陀市教育委員会 宇陀市人権教育推進協議会 宇陀市PTA協議会

宇陀市大宇陀栗野・牧・田原・上片岡・大熊・東平尾・下片岡地区は、もとは吉野郡上龍門村でした。昭和17年に旧大宇陀町に統合になりましたが、今も愛着をもって『上龍門』という呼称をつかっています。